



御坊税務署からのお知らせ

○ 非常勤職員の採用について

御坊税務署では、確定申告期における非常勤職員を募集しております。

興味のある方は、御坊税務署 総務課までお気軽にご連絡ください。

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

○ 期 間：令和8年2月上旬～令和8年3月下旬まで

○ 勤 務 日：月曜日から金曜日（土日祝除く）

○ 賃 金：時給1,120円 交通費別途支給（条件あり）

○ 仕事内容：確定申告に來られた納税者の申告書作成補助（スマートフォン等）、案内事務、受付事務、パソコン入力、書類の仕分け等

御坊税務署 総務課 ☎0738-22-0695

（音声案内で「2」を押してください。）

○ マイナンバーカードで自宅から確定申告

申告書の作成と税務署への提出は スマホ で完結

税務署へ行かなくても、スマホとマイナンバーカードがあればいつでも、どこでも、簡単に申告書を作成できます
画面の案内に沿って進めるだけで申告書が作成できるのでちょっとしたすきま時間であつという間に作成できます



和歌山県立 和歌山産業技術専門学院 生徒募集

募集する訓練科

○2年制：自動車工学科、理容科、メカトロクス・CAD科

○1年制：建築工学科、デザイン木工科、総合実務科

※11月選考後、定員に満たなかった科のみ募集します。

お問合せ 和歌山産業技術専門学院(和歌山市小倉90) ☎073-477-1253

※詳細は二次元コードで



○願書受付期間：令和7年12月1日(月)～令和8年1月13日(火)

○選考実施日時：令和8年1月24日(土) 9:30～

○選考会場：和歌山産業技術専門学院



12月3日から9日は「障害者週間」です

「障害者週間」は、障がいのある人たちの社会参加を推進し、理解と認識を深めるための週間です。障がいのある人は、生活のさまざまな場面で不自由を感じることがあります。周囲が理解し配慮することで、自立の幅が広がります。どのような配慮や支援が必要なのか知り、「誰もが心地よく安心して暮らせるまち」をつくりましょう。



障がいのある人について知ってください

- ・生まれつき障がいのある人もいれば、病気や事故などにより障がいが生じる人もいます。障がいは、誰にでも生じ得る身近なものです。
- ・障がいは多種多様で、同じ障がいでも状態は一人ひとり違います。
- ・外見からは分からない障がいもあります。

障がいのある人への配慮

- ・周囲の状況が分からず、助けを求められない人もいますので、こちらからすすんで行動しましょう。
- ・緊急のお知らせや災害警報などが流れたときは、声をかけましょう。
- ・見た目では分かりにくい障がいがあり、日常生活で困難なことがたくさんあるので、丁寧な対応をしましょう。複雑な会話は、短い単語や絵、図などを使って分かりやすく伝えましょう。

ヘルプマークを知っていますか

<援助や配慮が必要な人のためのマークです>

ヘルプマークは、外見からは分からなくても、周囲の人からの援助を必要としている人が身につけ、周囲から配慮を受けやすくなることを目的としたマークです。このマークを見かけたら、電車やバスで席を譲ったり、困っているようであれば声をかけたりするなど、思いやりのある行動をお願いします。



お問合せ 保健福祉課 ☎0738-22-9041

障害者差別解消法について

障害者差別解消法とは、行政機関や事業者での「障がいを理由とする差別」をなくし、障がいのある人もない人もすべての人が共に生きる社会をつくるための法律です。この法律では、障がいのある人に対する「不当な差別的取扱い」が禁止され、「合理的配慮の提供」が義務づけられています。

○不当な差別的取扱いとは？

正当な理由なく、障がいがあるという理由だけでサービスなどの提供を拒否したり、提供にあたって条件を付けたりすることです。

例) 受付の対応を拒否する／本人を無視して付き添いの人だけに話しかける／アパートなどの入居を断る

○合理的配慮の提供とは？

障がいのある人は、社会の中にあるさまざまな障壁によって生活しづらい場面があります。障がいのある人から、その障壁を取り除くよう求められたときに、負担になり過ぎない範囲で対応することが「合理的配慮の提供」です。

例) 段差がある場合、車椅子利用者の補助をする／筆談、読み上げ、手話など、意思疎通の配慮を行う／飲食店などで、車椅子の人も利用できるように、机や椅子の配置の一部を変更する

※合理的配慮は、相手の立場になって考えるちょっとした心づかいから生まれます。必要としている配慮は、その人の障がい特性やその場の状況などで異なるので、「対話」を通じて調整することが大切です。

OCCH

ZERO CARBON CITY HIDAKAGAWA

令和3年11月ゼロカーボンシティ宣言

2050年二酸化炭素実質排出ゼロを目指します

～できることから始めよう～
ゼロカーボンシティ ひだかがわ

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

お問合せ 企画政策課 ☎0738-23-9511

次世代自動車(FCV, EV, PHEV, HV)

- ・力強い加速と快適な乗り心地で経済的
- ・補助金や優遇税制の活用によりお得に購入可(FCV, EV, PHEV)
 - 約7万5千円/年維持費がお得
- ・災害時の電源としても活用可能(FCV, EV, PHEV)
- ・自宅で充電でき、給油の手間が大幅に軽減(EV, PHEV)
 - ガソリンスタンドへの訪問が20回/年程度削減でき、約2時間/年有効活用
- ・自動運転車なら、移動時間（約323時間/年）も有効活用

エコドライブ

- ・速度や車間距離を自動で保つアシスト技術を活用することで、ラクして快適・安全にエコドライブ
 - ガソリン代が約9千円/年お得

完全自動運転なら移動時間（約323時間/年）も有効活用



速度や車間距離を自動で保つアシスト技術の活用でラクに安全で省エネ

